

特集

税務実務家インタビュー!!

第一弾 税理士法人 日野総研 高井大輔先生



皆様、学習は順調に進んでいますでしょうか。確認テストを受験してみて様々な課題が出てきた頃かと思います。税理士試験において、年内に学習する項目は非常に重要となります。本試験の頻出項目であることはもちろんのこと、年明けの項目の基礎にもなりますので、年内に学習した項目は1つ残らず「理解」し、解法などを「定着」させましょう。年末にかけて中々学習に集中できない日々が続く方もいらっしゃると思いますが、開講日には「今年はやってやるぞ!」という気持ちがあったと思います。それを思い出してみてください。それぞれ学習環境は違いますので、少しでも不安があるようでしたら担当講師にご連絡ください。

また、11月30日には第72回本試験の合格発表があります。昨年の本試験を受験された方におかれましては、結果が判明致しましたら、どのような形でも良いですので、ご一報いただけますと幸いです。

本号は税務実務インタビューの第1弾です! 税理士法人 日野総研 高井大輔先生へインタビューをさせていただきました。ぜひご一読ください!

税務実務家インタビュー!!

第一弾 税理士法人 日野総研 高井大輔先生

本年度も税務実務インタビューを掲載します。本年度の第1弾は税理士法人 日野総研の代表である高井大輔先生にインタビューをさせていただきました。



(高井大輔先生)

1 日野総研様について

——— 本日はよろしくお願い致します。さっそくですが、会社の規模等を教えていただけますでしょうか。

高井先生 よろしくお願い致します。従業員数は8月18日時点で12名です。そのうち、税理士が私を含めて3名、税理士試験を学習中の社員が4名います。

お客様は、法人から個人まで様々で、その数は法人が約130件、個人が約110件です。その規模も上場している法人から町の飲食店まで幅広いです。

また、今年で父の代から数えて40年、法人化してから10年になります。

——— ありがとうございます。次に、具体的な業務内容について教えてください。

高井先生 業務内容も幅広く、グループ通算制度（連結納税から法人税）、相続、事業承継などがあります。特に中小企業の事業承継は、会社の「ヒト、モノ、カネ」だけではなく、個人の財産である株なども関与するため、複雑になりやすいです。そのため、お客様に様々な選択をいただけるような提案心掛けています。その他、セミナーで講師もやっていますよ。

——— セミナーの講師もやられているんですね。

高井先生 はい。他にもある銀行の税務顧問として、毎週水曜日にオンライン形式で経営相談を受けています。全国の銀行員から様々な相談を受けますね。

——— 本当に業務の幅が広いですね。

高井先生 専門病院というよりは、町の総合病院というイメージを持っていただくと良いと思います。

——— 繁忙期や毎月の残業時間について教えてくださいませんか。

高井先生 はい。勤務時間は9時～18時ですが、アフター5を活用できるように、17時に終わらすこともできるようにしています。ですから、受験勉強中の方は、大原の夜講義にも十分間に合います。

繁忙期は主に11月（年末調整）～5月（法人の申告）です。その中でも12月～1月はお客様のところへ訪問する機会が増えるので、特に忙しいです。

残業ですが、平均すると毎日1時間も残業は無いですね。19時以降に社員がいなさすぎて逆に不安になる程です（笑）。繁忙期である確定申告期でも月30時間くらいですね。その時期に21時以降に社員がいたかどうか覚えてないです（笑）。また、繁忙期は土曜日出勤をお願いする事務所さんもあると思いますが、日野総研では土曜日出勤もお客様の要望でもないかぎりないです。

——— そうなのですね。驚きです…。

高井先生 確定申告を行うお客様が少ないことも要因の一つだと思いますが、繁忙期が来る前に、社員のみんなは前倒しでできる業務をやっていて、ある時期だけに業務負担が偏らないように、業務を平準化していますね。例えば、法人のお客様であれば、月々に巡回監査をしているので、年1回の決算でやることを月単位でできないかと考え、できるものは毎月の業務に落とし込みをしています。

2 新人の業務について

——— **新人の入社後からの業務内容を聞かせてください。**

高井先生 まずは1ヶ月くらいかけて研修を受けてもらいます。TKC全国会に加盟しているのですが、そこには新人研修セットというものがあります。その中の初級職員研修というもので、税法のほか、民法、労務、雇用関係などの知識を広く浅く身に付けていただきます。その後、巡回監査士補、巡回監査士のカリキュラムを受けてもらいます。

——— **会計や税務に限らず幅広い知識が必要なのですね。**

高井先生 はい。我々は何も知らない中小企業の「なんでも屋」でなくてはなりません。ですので、会社で起こりうる事象に絡む法律的な知識は幅広く習得する必要があります。

——— **他の研修はいかがでしょうか。**

高井先生 他にはOJT研修として、顧問先に先輩と同行します。実際の現場で経験をしないと身に付かないものは、これで身に付けていただきます。

——— **ありがとうございます。最初は先輩と同行と言われましたが、一人で顧問先に行くのは入社してからどのくらいでしょうか。**

高井先生 社会人経験がある方で、早い社員で1年から1年半です。やはり、お客様とのコミュニケーションが必要になりますので、社会人経験があればそのスキルが備わっている方が多いのですが、社会人経験が無いとそのスキルを習得するまでに時間を要します。また、ただお客様と話すことができれば良いというわけではなく、持っている知識を全部出し切って接することができなくてはなりません。

——— **未経験の方でも安心して働くことができますね。**

高井先生 ちょうど今年の7月に税務実務未経験（簿記2級取得、社会人経験あり）の方が入社しました。その社員はまさに研修の映像を毎日見えています。税務実務が未経験であっても研修が充実しているので安心して働けます。

3 受験勉強との両立について

——— **受験勉強中の方について、どのように両立をさせているか聞かせていただけますでしょうか。**

高井先生 前述したとおり、残業があまりなく、アフター5の時間が長いので、それを有効に使うことができます。そうすると、早く帰る→早く寝る→早く起きる→朝の時間に学習ができるという良いサイクルを作ることができます。

7月に入社した社員も、この9月から簿財の学習を開始しており、朝の時間を有効に使っています。私の学習経験から授業時間と同じくらいの復習量は必要だと思いますので、この調子で頑張ってほしいですね。

——— **両立するために必要なことはありますか。**

高井先生 環境面ですと、学校に通って学習される方でしたら、できるのであれば、大原の近くに住んで移動時間を減らした方が良いでしょう。少々の移動時間であれば理論暗記ができると思いますが、長時間になると集中力等にも限界があるため、暗記には向いていないと思います。

気持ちの面ですと、明確な目的を持つことです。これがないと、つらいときに嫌になってしまい、モチベーションが続かなくなります。

——— **目的を持つことは大事ですね。**

高井先生 はい。あとは、結局のところ、税理士試験との両立をするしかないんです。両立ができるように工夫していくことが大事です。身体を壊さずにいかに時間を使えるか、これに尽きます。私も受験勉強時代に何回辞めたいと思ったか分かりません（笑）。

4 応募資格、欲しい人材像について

——— **応募資格等がありますでしょうか。**

高井先生 やはり簿記知識は必要ですね。日商簿記2級に合格していればなお良いです。

欲しい人材像は、物事に正直、言われたことに素直、何よりも真摯である人です。これらがあれば、他は後から身に付きます。

——— **ありがとうございます。正直、素直、真摯の3つの要素が重要なですね。**

高井先生 ハードルが高いように思うかもしれませんが、これらは意識1つで変えることができます。日々、「自分は正直ですか、素直ですか、真摯ですか」というように問いかけることができれば自ずとそうなります。ベテランであろうと新人であろうと問いかけ続けられる人が欲しいですね。



5 税理士を目指したきっかけ

では次に高井先生自身のお話を聞かせてください。税理士を目指したきっかけは、やはりお父様の影響が強いのでしょうか。

高井先生 父が税理士だから自分も税理士になろうと思ったわけではないです。元々は税理士になるつもりはありませんでした。税理士を目指す前の私は今が楽しければそれで良いという考え方だったので、自分のためだけに生きてましたね（笑）。父とは進路の件で高校時代から口喧嘩が多かったですし、「お前みたいなやつは雇わない。」と言われましたが、私も「頼まれてもやらない。」と思ってたくらいです。

そんな私が税理士を目指したのは20歳のときになります。20歳のときに父が癌で亡くなりました。癌と発覚してから2週間後のことでした。父は開業していたので、その後継者を探しているときに、祖母から継いでほしいと言われました。

継いでほしいと言われたことがきっかけになったのでしょうか。

高井先生 それもあるのですが、父の葬儀のときに参列者の数人から、「あなたのお父さんには生前本当にお世話になった。私の人生、あなたのお父さんがいてくれたおかげと言っても過言じゃない。本当にありがたい。今となってはお父さんに恩返しできないので、家族に恩返しをしたい。」という言葉もらいました。

そのときに、自分の人生を振り返ったときに、「高井大輔がいてくれたおかげで私の人生があった」と何人の方に言っていただけだろうかと考えました。これは私の人生の目標になっているのですが、それがきっかけとなって、税理士を目指しました。実際に税理士になって働いてみたら天職でしたね。

どのような点で天職とされていますか。

高井先生 私は人の話を聞くのも好きですし、話をした中からお客様がヒントを得てくれるのも嬉しく感じます。TKCには肉親にアドバイスをするようにお客様にアドバイスをしましょうという考えがあります。税理士は、顧問料はもらいますが、モノを売る商売ではありません。純粹に相手のことを思って仕事ができますので、時には厳しいことも言えますし、自分と同じ考えを持つ方、一生をかけて世の中をよくしたいと思っている方には全身全霊でサポートをすることができます。そのサポートのおかげで、その方たちが力を発揮して、世の中が良くなったら嬉しく思います。人が好きな人には絶対向いている職業だと思います。

6 受験生時代

学習を始めたところのお話を聞かせていただけますでしょうか。

高井先生 20歳で税理士を目指しましたが、簿記の学習経験が無かったので、とりあえず大原や他のスクールへ話を聞きに行きました。話を聞きに行ったのが9月末でしたので、すでに開講から1ヶ月が経過していましたが、大原で入門講座から学習を始めることになりました。

途中入学で入門講座からだと、かなりの負担だったと思います。

高井先生 そのとおりです。私が学習をしていたころは、簿記論の学習を始めるにあたり、日商簿記2級までの知識が必要でした。入門講座も当時は入門Ⅰ、入門Ⅱというのがあり、それを4週間で終わらせました。ただ講義を聴くだけではなく、大原に話を聞きに行ったときに、「講義と同じくらいの復習が必要」と言われたので、それも徹底していました。かなりきつかったですね（笑）。

税理士の学習がスタートしてからはいかがだったでしょうか。

高井先生 最初の2ヶ月はモチベーションが高かったので、大学→大原→復習→1～2時に就寝→大学という生活をしていました。税理士の学習の遅れは年内に追いつくことができましたが、短期間で新しい知識をたくさん入れましたので、忘れるのも早かったです（笑）。財務諸表論担当の大井先生と一緒に授業を受けていたときもありました。

大井先生と同じ講義を受けていたのですね。

高井先生 はい。いつの間にか講師になられていて驚きました。大井先生の講義に出席したこともありますが、大井先生もやりづらかったのではないのでしょうか（笑）。

初めての本試験はいかがだったでしょうか。

高井先生 受験生1年目の答練は、点数が取れなかったですね。「分からないところが分からない」状態でした。そして、本試験を初めて受験するわけですが、手も足も出なかったのがかなりショックを受けたことを覚えています。

最初の本試験は苦い経験となったわけですね。

高井先生 そうですね。初めての合格は財務諸表論だったのですが、そのときに思ったのは最初のミニテストから上位30%以内に入ることが大事だということです。上位30%以内に入ることができなかったときには、なぜ入ることができなかったのか、その原因分析を行い、自分のとった点数に理解していない所を足して上位30%以内に入ることができるように徹底をしていました。ケアレスミスの失点分を足してしまうと、本当に足りないものが見えなくなりますので、それを足さないように注意が必要です。これを徹底して行うことで、本試験で合格できるレベルになると思います。

おっしゃるとおりですね。上位30%以内に入るということを目標に学習して、足りないところを徹底的に復習することが大事だと感じます。受験生時代に苦労したエピソードはありますか。

高井先生 自分はどこまで勉強できるのかトライし、追い込みの時期に16時間、学習をしたことがあります。食事、お風呂、トイレ、睡眠以外は勉強ということになります。睡眠は頭を休めるために大事ですので、睡眠時間を削らないで他の時間を削るようにしました。学習内容は、2時間問題を中心に、間の時間で個別問題、理論暗記をやっていました。そのときは上位30%以内に入るための復習ではなく、100点をとるための復習をしていました。答練はかなりの回数をやりましたね。

実際に16時間の学習をやっていた期間は1ヶ月くらいだったのですが、人生の中でこんなに勉強する機会はあと1ヶ月しかないと思うようにしていたのでモチベーションが下がることは無かったです。ただ、やっぱり16時間はきつかったですね（笑）。



そのような学習を続けられて、税理士試験に合格したときの気持ちを教えていただけますか。

高井先生 勉強しているときは当然きつかったですが、最後の受験終了後に「もう勉強をやらなくて良いんだ」と思った清々しさ、試験会場を出たときの突き抜けた青空は今でも忘れないです。この気持ちはぜひ味わっていただきたいですね。

7 今後の税理士について

——— **他の税理士と差を付けるために何が重要だと思いますか。**

高井先生 どれだけお客様のことを思えるかだと思います。言い換えれば、自分以外の他人に一生懸命な人ですね。そのような日人は社会に必要とされます。例えば、これまでに自分が使ってきて成功してきた武器や道具があったとします。その武器や道具が、お客様のベストな選択肢を提供するうえで手放さなければならなくなった場合、皆さんは手放すことができるでしょうか。なかなか難しいと思います。しかし、お客様を思い、お客様にとってベストな選択肢を提供したいという思いが根底にあると、それを手放すことができます。

——— **確かに、お客様を思うことでそのときに合った武器や道具が持てると感じました。**

高井先生 自分の知識、経験ではなく、お客様を思うことをスタートにして知識、経験、技術、道具を身に付けていけば、それを振り返ったときには他の税理士に負けないものをそろえられていると思います。

——— **次に、税理士は今後どのような業務がメインとなっていくと思われますか。**

高井先生 これはTKC全国会で言われていることですが、「経営助言」と「保証」だと思います。「経営助言」というのは、会計・税務を基本としつつも、経営者に寄り添いアドバイスすること、「保証」というのは、信頼性の高い決算書を作成することで、お客様を取り囲む第三者（税務署、金融機関など）からその会社が信頼されるようにすることです。

——— **AIについてはどのようにお考えでしょうか。**

高井先生 人間特有の目を見て、肌で感じて、言葉を交わすというのはまだAIに負けないと思います。人と人とのかかわりの中で、言葉にしたことだけでなく、相手の目を見たり、取り囲む環境に網を張って相手のことを知ることは、人間でなければできない部分です。

一方で、申告書作成などは、「寝ない・忘れない」AIには勝てないでしょう。これを我々の道具や技術として使えるように一步上をいかなければならないと感じています。

——— **人とのつながりがより大事になっていくということですね。**

高井先生 そうですね。税理士一人だけでは何もできませんので、お客様に目標を達成するために行動を伴ってもら必要があります。こちら毎月訪問時に、目標達成のためにどのような行動をしたか、今現在の状況はどうかなどを聞いて、今後どうしていくのかを聞き取り、助言をします。このときにお客様が話しているうちに自分自身で今現在の課題点に気付いたりする場合があります。これを税理士が分かっていると、話の聞き方も変わってきますので、自ずとお客様に寄り添うことができるはずで。また、そこで発見したアドバイスは他の業種の社長さんに応用することもできます。

8 税理士の魅力

——— **税理士の魅力は何だと思われますか。**

高井先生 まず手に職を付けるのは最高だということです。組織の中で働くこともできますし、組織が合わなければ独立することもできます。自分で組織も作れます。引退時期も自分で決めることもできます。

また、こんなに赤の他人の近くに立てる職業は無いと思います。お客様の財布の中身、家族、悩み、病気、メンタルなど広範囲のことを知る必要があります。なぜなら、その人の多くのことを知らなければ本当に感謝されるようなアドバイスができないと思うからです。この距離感が「私の人生、あなたがいてくれて本当に良かった」と言ってもらえるようになるためには必要です。

うまくいかないときに手助けをして、「あなたが近くにいてくれて、そのように言ってくれて、頑張ってた良かった」と言われたときには最高の気分になります。この仕事をして良かったと思いますね。

——— **お客様とかなり近い距離間になりますね。**

高井先生 他人の人生にここまで近く、深くかかわれるのはおそらく税理士だけだと思います。一方で、お客様に信頼されないと、その距離感まで踏み込むことができません。「この人だったら…」と思っていただけとお客様との距離が近くなります。ですから、お客様の近くに入れてもらえる人間力が必要ですね。

——— **その他の魅力も教えてください。**

高井先生 無資格でも税理士法人などで仕事はできますが、税理士という肩書があるかないとでは全然違います。私も資格を取る前と取った後のお客様の違いを肌で感じました。お客様をはじめ、自分の周りの環境が変わります。その違いは絶対に味わった方が良いでしょう！立場が人を育てるという言葉がありますが、まさにそれですね。税理士という資格が自分を成長させてくれます。

また、人の役に立つ仕事は嫌でも稼ぐことができます。周りの人に好かれて、その人から協力を得たときには、一人では発揮できないパフォーマンスを発揮できます。これも魅力に感じます。

9 受験生への応援メッセージ

——— **受験生への応援メッセージをお願い致します。**

高井先生 税理士試験はどんなに時間がかかっても必ず受かります。それを信じて全力で学習をしてください。全力でやる時間が長いとつらいですよ？ですから全力でやる時間は短い方が良いです。受験生の多くは不安を抱えていると思いますが、気合と根性で合格できるのは、国家試験では税理士試験くらいだと思います。

また、受験勉強をしてると世界が狭くなりがちです。つらい、うまくいかないという感情が多くなり、暗い感じになってしまいますが、それが当たり前だと思います。自分だけではなく、周りも同じだと割り切ったり、その環境に慣れることが必要ですね。繰り返しになりますが、このような暗い感じの時間は短い方が良いですよ。

——— **大変な試験を乗り越えて、税理士という魅力的な仕事があるわけですね。**

高井先生 逆に言うと、そのつらい時期は今しか味わえないです。今しかできない体験をしていると思ってみてはどうでしょうか。税理士になってからも勉強は必要ですけど、そこまではないです。人生の中でこんなに勉強することは無いと思えば、今の環境はプラスに捉えることができます。

本当に税理士は魅力的な仕事です。試験勉強はつらく、大変だと思いますが、そのときは税理士になった自分を想像してみてください。

——— **勉強中の皆さんも勇気づけられたと思います。本日はたくさんの貴重なお話、ありがとうございました。**

O-HARA Career Staff

税理士法人・会計事務所・コンサルティングファーム等

就職面談会

東京

参加
無料

12/3

土

13:00~16:00

ベルサール渋谷ファースト

概要

- 税理士業界大規模 就職・転職イベント！
- 個別ブースにて、採用担当者と面談いただけます。
- 大原キャリアスタッフのキャリアコンサルタントも常駐！

※ご来場いただくすべての皆様の健康・安全を配慮して新型コロナウイルス感染予防対策を実施してまいります。
詳細は事前エントリー後の受付案内メール等をご確認ください。

エントリーはこちら



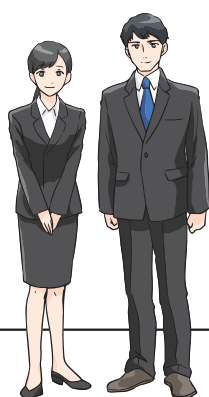
※受付開始 11/11(金)～(予定)

参加法人・事務所

詳細は、11月中旬頃大原キャリアナビ
(<https://www.o-hara-cs.jp/>) にてご案内いたします。

◆大学生・専門学校生の方で、就職面談会ご参加に向けて税理士の仕事や在学中のスケジュールなどについて知りたい方は、大原キャリアナビをご覧ください！

大学生・専門学校生必見！
税理士を目指す学生の就活ガイド



同日開催

大阪

12/3

土

10:30~13:30

大原簿記専門学校大阪校
(新大阪)

エントリーはこちら



※受付開始 11/11(金)～(予定)

※状況により、イベントの開催を中止する場合や各種変更が発生する場合がございます。詳細及び最新情報はホームページでご確認ください。

2022 Winter
就職情報誌

Win 発行！

求人情報が
満載！

【発刊予定日】

東日本版 11/11(金)

中日本版 11/25(金)

西日本版 11/11(金)



就職・転職に関するご相談は

大原キャリアスタッフ

<https://www.o-hara.ac.jp/career/>

※エリアによりサービス内容が異なります。

次回のVol. 3号は1月発刊の予定となります。

WIN

ウィンVol.2

●第27巻第2号通巻225号 ●2022年11月19日発行

●発行所/大原簿記学校 〒101-0065 東京都千代田区西神田1-2-10



最新の受験情報満載！

大原の税理士メルマガ 毎月無料配信中！

メルマガ登録はこちらから→<http://www.o-hara.ac.jp/goukaku>

大原 メルマガ 検索